

1. 建物概要

建物名称	大浜公園再整備事業 集会場	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★
------	---------------	-----	-----	--------	---	------

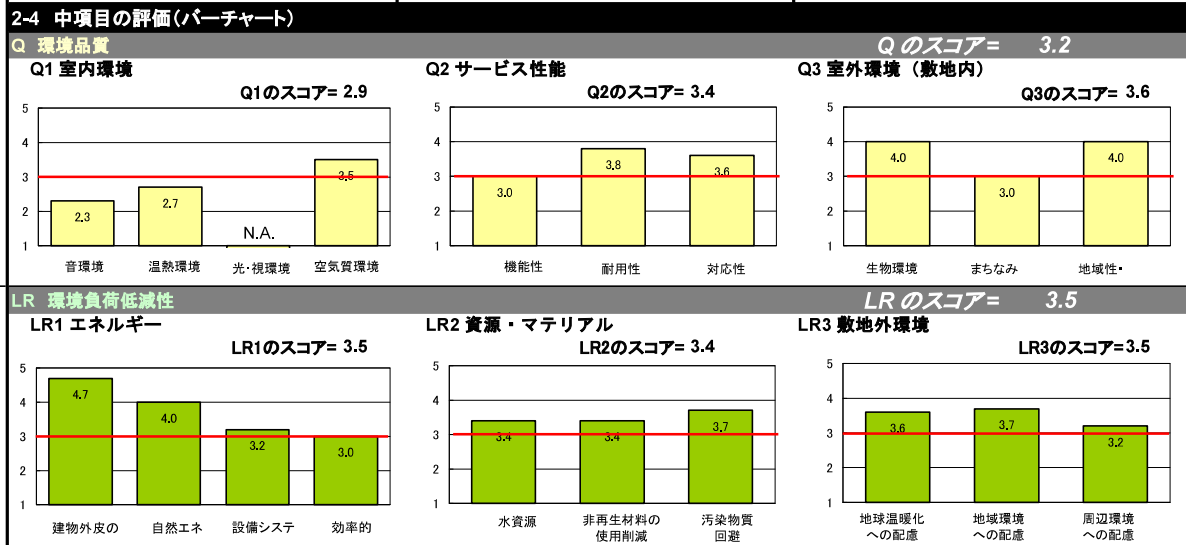
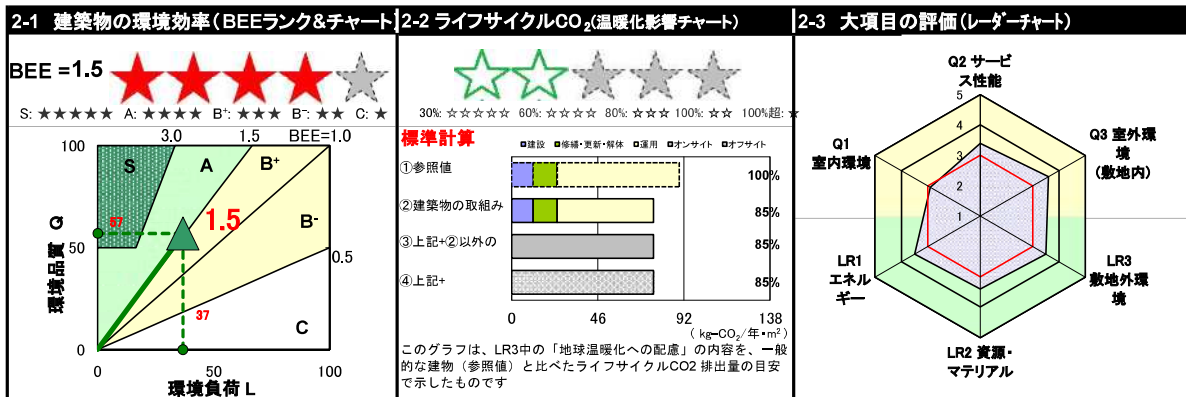
2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度		評価	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.8	/5			ふつつ	
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.8	/5			ふつつ	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.8	/5			ふつつ	
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	3.8	/5			ふつつ	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.8
	■室内環境対策 (①室温制御/③昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①吸音材なし、家具のファブリックやカーテンによる吸音により音環境良好。 ④床は磁器質タイル、塩ビタイル、壁・天井はビニルクロスを採用。 ④屋外露出ダクトにはガルバリウムダクトを採用。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	⑤ 外皮性能 ⑥ 昼光利用設備 ⑦ 昼光制御 ⑧ 躯体材料の耐用年数 ⑨ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑩ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑪ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑫ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑬ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤既存樹の保存・移植・補植、常緑樹による植栽で景観に配慮。 ⑥空地・緑地面積の確保、樹木による緑地を豊富に確保。	Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦熱伝導率の低い断熱材の採用、ロールスクリーンやカーテンの設置。 ⑧窓は大開口とし、自然光と景観を取り込んでいる。 ⑨空調はパッケージ式個別空調、照明器具は全てLEDを採用。	LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪自動水栓、節水型器具、人感センサーによる洗浄、擬音装置の採用。 ⑫鉄骨柱梁接合部ボルト接合で分解可能、乾式仕上により分別可能。 ⑬免焼材はHFOを使用。	LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑪ 2.2 ⑪ 2.3 ⑪ 2.4 ⑪ 2.5 ⑪ 2.6 ⑪ 3 3.1 ⑪ 3.2 3.2.1 ⑪ 3.2.2 ⑪ 3.2.3 ⑪	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑪ 材料使用量の削減 ⑪ 既存建築躯体等の継続使用 ⑪ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑪ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑪ 持続可能な森林から産出された木材 ⑪ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑪ 有害物質を含まない材料の使用 ⑪ 消火剤 ⑪ 断熱材 ⑪ 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮敷地内および屋上に緑地を豊富に確保。	LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯用途係数1.25により、合計1.5倍の保有水平耐力を確保。 ⑰浸水しないように電源設備を屋上に設置。 ⑰災害時の有線電話、FAX、地域防災無線が設置されている。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑯ 2.4.2 ⑯ 2.4.3 ⑯ 2.4.4 ⑯ 2.4.5 ⑯	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑯ 空調・換気設備 ⑯ 給排水・衛生設備 ⑯ 電気設備 ⑯ 機械・配管支持方法 ⑯ 通信・情報設備
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲鉄骨ラーメン構造により空間形状の自由度は大きい。 ⑲津波避難ビルとして設計のため床荷重を大きく設定している。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑歩道上空地、ビロイ、バルコニー、夜間照明・防犯カメラ、地域開放。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
	“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤既存樹の保存・移植・補植、常緑樹による植栽で景観に配慮。 ⑥空地・緑地面積の確保、樹木による緑地を豊富に確保。	Q-3 1 ⑤ 2 ⑤ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ・景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮敷地内および屋上に緑地を豊富に確保。	LR-2 2 2.5 ⑫ LR-3 2 2.2 ⑮	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	大浜公園再整備事業 集会場	階数	地上4F	
建設地	静岡県静岡市駿河区西島字浜道西	構造	S造	
用途地域	第一種風致地区、第二種風致地区	平均居住人員	300 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)	
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年12月13日	
敷地面積	2,794 m ²	作成者	田中真由美	
建築面積	1,042 m ²	確認日		
延床面積	2,850 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 大浜公園再整備事業という事業特性や、住宅地であり風致地区という地域特性を十分考慮し、地域環境への十分な配慮と、公園利用者や地域住民への公益性の高さに配慮した計画とします。 これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		その他
Q1 室内環境 吸音材は使用せず、家具やカーテンによる吸音により居住性の高い音環境に配慮。 窓面にロールスクリーンやカーテンを設置し、室内への熱の進入に配慮。 仕上げ材は全てF☆☆☆☆とし、室内空気質に関して安全性に配慮。	Q2 サービス性能 公園利用者や周辺住民を受入れる津波避難ビルとして利用されるため、耐震性は建築基準法の1.5倍を有し、安全性を確保している。 津波浸水深さより高い位置に利用居室を設け、設備置場は屋上に設け、防災に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹の保存、常緑樹による緑豊かな植栽で景観に配慮。歩道上空地、ピロティの確保。多目的ホールの地域開放。バルコニー確保。夜間照明・防犯カメラの設置。
LR1 エネルギー 熱伝導率の低い断熱材の採用や、ロールスクリーンやカーテンを設置。 海に面した大開口から自然光と景観を大きく取り込み、照明器具は全てLEDを採用するなど、省エネルギーに配慮。	LR2 資源・マテリアル 衛生器具は節水タイプを採用し、水資源を保護します。 鋼構造のボルト接合や、仕上げの乾式工法により、容易に分別可能。 断熱材はノンフロン発泡材を使用。	LR3 敷地外環境 外構、建物とも、緑化面積を多く確保し温熱環境悪化を防止します。また、安全や利便性に配慮した駐車場計画や、防犯と日没後の雰囲気づくりの照明計画を行い、周辺住宅地に配慮した、海辺の公園にふさわしい施設とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される